

福井県スミレ属短報 (1)

若 杉 孝 生

スミレ属 (*Viola*) の新変種と新品種

(1) アオジクスミレサイシン

Viola vaginate Maxim. var. *viridipes* F. Maekawa

スミレサイシンの新しい変種で、葉柄も花柄も紫褐色がぬけてまったくの緑軸品。花の色も蕾のときは全く白色であるが(始めはシロバナスミレサイシンかと思われた)、開花して1日ほどたつとごく薄く青色がかかる。前川文夫博士に生品で同定していただいたところ、新変種として上記の学名と和名が与えられたので報告する。1977年5月8日敦賀の野坂岳で林幸子氏が採集された。

(2) フギレナガハスミレ

Viola rostrata Pursh. var. *rostrata* f. *laciniata* F. Maekawa

ナガハスミレの新品種で、ナガハスミレに比べて葉の鋸歯が粗く鋭く、不規則な欠刻状となる。1977年5月8日敦賀の野坂岳で筆者が採集した。前川文夫博士により上記学名と和名が与えられたので報告する。

付 記

アオジクスミレサイシンはその後の調査で、足羽郡美山町南西俣の山地に多数の株が見出された。ここでも野坂岳と同じく母種のスミレサイシンと共に混生するので、県内での分布は案外もっと広いかも知れない。